
遠隔地のお客様に REPORT EYE デモ/ハンズオン

デモ/ハンズオンを通して REPORT EYE 操作を習得し、パートナー様のお客様向けに拡販目的でデモを実施したいとのことでスキルトランスファーを行いました。

遠隔地（鹿児島）から VPN 接続にて川崎の検証センター（IGUAZU Solution Center : 以下 ISC にて略）にて接続し、講師は川崎から WebEX にて画面共有して REPORT EYE のデモ/ハンズオンを実施しました。

背景・課題

REPORT EYE の販売促進の為、パートナー様向けにデモ/ハンズオンを実施します。遠隔地のパートナー様でも REPORT EYE 拡販にご協力いただける場合、デモ環境の提供も行います。

製品概要

製品名 REPORT EYE

- Webブラウザを使って、
IBM i データベースから**リアルタイム**で検索・照会
- 欲しいレポートを簡単に作成・メニュー化、
利用者は**ワンクリック**でデータを取得
- WebブラウザからExcelへ
簡単エクスポート
- EXCELから直接データを取得

基幹システム (IBM i)



REPORT EYE

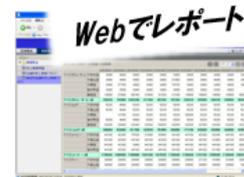


部門内での分析・集計に

経営層へのレポート作成に

IBM i にある基幹データを
簡単にWebで参照・共有！
(使い慣れたEXCELも利用可)

専用のIAサーバ不要
IBM i の空リソースで稼働！



低コスト・短時間でレポート環境を構築！

デモ/ハンズオン概要

使用したハード/ソフト

PowerSystems 環境 : Power720 (IBM i 区画)

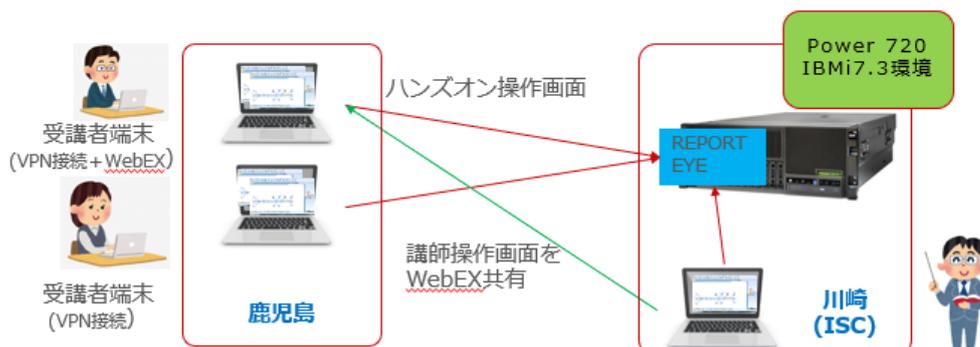
IBMI i OS : IBM i 7.3

REPORT EYE 側 : Ver 5.9.0b

WebSphere Application Server 8.5.5.9 Express

遠隔地のお客様に REPORT EYE デモ/ハンズオン

- カテゴリ：デモ/ハンズオン
- 使用ハードウェア/ソフトウェア：REPORT EYE
- 内容：サンプルデータを用いてREPORT EYEによるデモ・ハンズオン
遠隔地(鹿児島)から川崎のデモ環境にVPN接続。
講師の画面をWebEXにて共有し、操作方法を学習。
受講者はそれぞれのVPN接続でREPORT EYE環境に接続して実際に操作。
デモデータを使い、新規分析の定義作成と実行をハンズオンの実施。



6名が同時使用

所感

- ・遠隔地から6名で接続してもパフォーマンスに問題なく、ハンズオンを実施できました。
- ・今後、パートナー様も REPORT EYE を自社に購入し、導入支援サービスも検討予定とのことです。